

**オーストラリアレポート**
**豪州準備銀行は2021年に向けて景気回復を見込む**

- RBAは森林火災と新型コロナウイルスの影響を考慮し、2020年前半にかけての豪州の実質GDP成長率予想を下方修正。
- 森林火災と新型コロナウイルスの影響は一時的に留まり、2021年には3.0%近辺への景気回復を見込む。
- RBAは個人消費の回復に楽観的な見方。
- 家計のバランスシート調整の一巡で消費意欲の回復を見込む。

**2020年後半以降は3.00%近辺への景気回復を見込む**

豪州準備銀行（RBA）は2月7日、「四半期金融政策報告」の中で最新の経済見通しを公表しました。

足元の豪州の森林火災や、中国を中心に感染が拡大する新型コロナウイルスの影響などを考慮し、RBAは2020年前半にかけての豪州の実質GDP（国内総生産）成長率の見通しを下方修正しました（図表1）。

ただし、RBAは森林火災や新型コロナウイルスの経済的影響は一時的に留まるとみており、2020年後半以降は森林火災への復興需要などが景気を押し上げ、豪州景気は2021年には前年同期比+3.0%近辺の成長軌道に回復するとの見通しを示しています。

RBAは2020年のGDP成長率予想（年平均）を前年比+2.75%から同+2.25%へ引き下げた一方、2021年予想は同+3.0%で据え置いています。

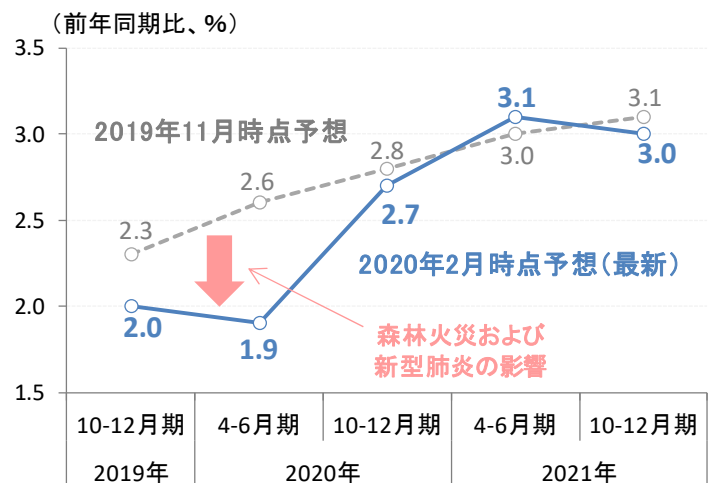
**個人消費の回復に楽観的な見方を示す**

こうしたRBAの景気回復見通しの背景には、個人消費の先行きに対する楽観的な見方があります。

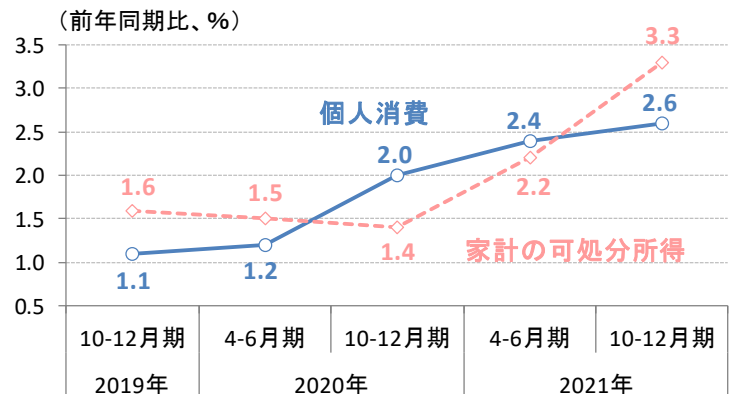
RBAは、2019年の豪州の個人消費低迷は、賃金上昇率の鈍化と住宅価格の下落（2018年～2019年前半）から家計が消費を抑制していたためとみています。

2019年後半以降は豪州の住宅価格は上昇基調に転じており、足元では雇用環境も改善しています。RBAは家計のバランスシート調整は早晚一巡し、家計の消費意欲は回復に向かうと見込んでいます。

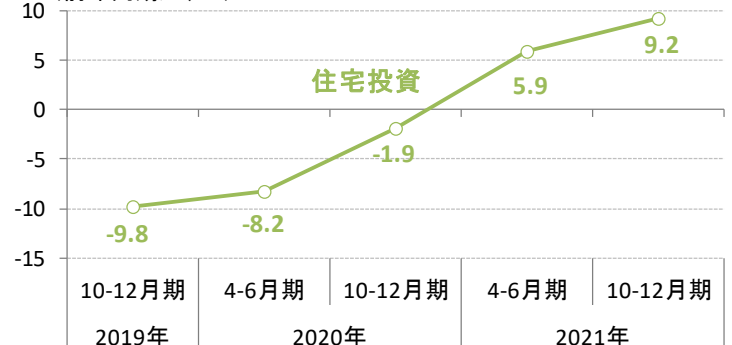
今回のRBAの経済見通しにおいても、個人消費は2021年にかけて緩やかな回復が見込まれているほか、2021年からは住宅投資もGDP押し上げに寄与し始めると予想されています（図表2）。

**図表1：RBAによる豪州の実質GDP成長率見通し**


(出所) 豪州準備銀行 (RBA)

**図表2：RBAによる豪州の家計部門の経済見通し**


(前年同期比、%)



(出所) RBA

(注) すべて2020年2月時点の予想。実質ベース。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>